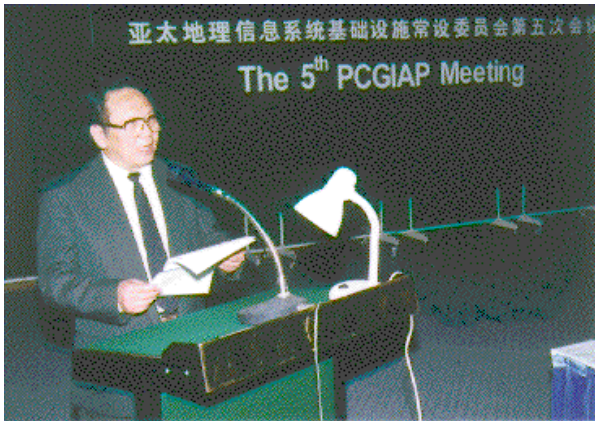




GLOBAL MAPPING News LETTER 14

第5回アジア太平洋地域 GIS 基盤常置委員会が成功裡に開催 中国国家測繪局次長 ヤン・カイ



歓迎の挨拶 中国国家測繪局長 ジン・シャンウエン

第5回アジア太平洋地域 GIS 基盤常置委員会 (PCGIAP) が1999年4月19日～22日まで、中国の北京で開催され成功裡に終了した。中国国家測繪局 (SBSM) が主催した本会合には、アジア太平洋地域から54名の代表者が参加した。

本会合は、4月19日に SBSM 局長のジン・シャンウエン氏と PCGIAP 会長のアブドゥル・マジ・モハメド氏の歓迎の言葉で開会され、翌日からの委員会では、地域測地網、地域基礎データや加盟国の整備の必要性の確認等の主要プロジェクトに関する2つのワーキング・グループと1つの対策委員会の進捗状況と作業計画につ

いて討議が行われた。また、地籍の課題と PCGIAP 内での地籍ワーキング・グループの設立についても討議が行われた。

北京の会合は、これらの成果をもって、PCGIAP の目的に向けてさらなる前進の証とした。

第5回 PCGIAP 会合と同時に、空間データ基盤 (SDI) 国際セミナーが、SBSM と PCGIAP の共催で行われた。このセミナーでは、国際的な取り組みの代表者や関連する中国政府の部局や研究機関の専門家により、地球、地域、国家規模での SDI の整備に関する12の発表が行われ、PCGIAP の代表団ばかりでなく、主催国の様々な部門からの代表者達を含む100名以上の人々が参加した。

北京で開催された PCGIAP の会合と SDI のセミナーは、中国における国家規模の空間データ基盤 (NSDI) 整備に大きな刺激を与えたと思われる。

PCGIAP の次回の会合は、2000年3月頃に第15回国連アジア太平洋地域地図会議 (UNRCC-AP) とともに開催される予定である。

ISO/TC211 の活動

第8回 ISO/TC211 本会議が、1999年3月4日と5日にウィーンで開催され、26ヶ国と8提携機関から約90名の専門家がこの会議に参加した。

会議では18の決議が可決され、作業のプログラムは、決議99で調整された。これらのほとんどの作業項目は、西暦2000年の国際標準に盛り込

まれる見込みである。

第9回本会議は、今年9月29日と30日に京都で開催される予定である。ISO/TC211では、提携メンバーとして、ISCGMがこの会議に参加することを歓迎する。本会議に先立ちワーキング・グループの会合の開催が予定されている。本会議に付随してISO/TC211セミナーが10月1日に同じ会場で開催され、3名のTC211の専門家が、TC211における地理情報の標準化の問題について発表

し、3名の日本の専門家が、このセミナーで日本における標準に関連する問題について発表する。このセミナーは、一般に公開され入場無料で、日本語と英語の同時通訳のサービスが予定されている。。

以下のホームページで詳しい情報が提供されている。

<http://www.starkart.no/isotc211>

地球地図プロジェクトの国と地域

参加（1999年6月21日現在）

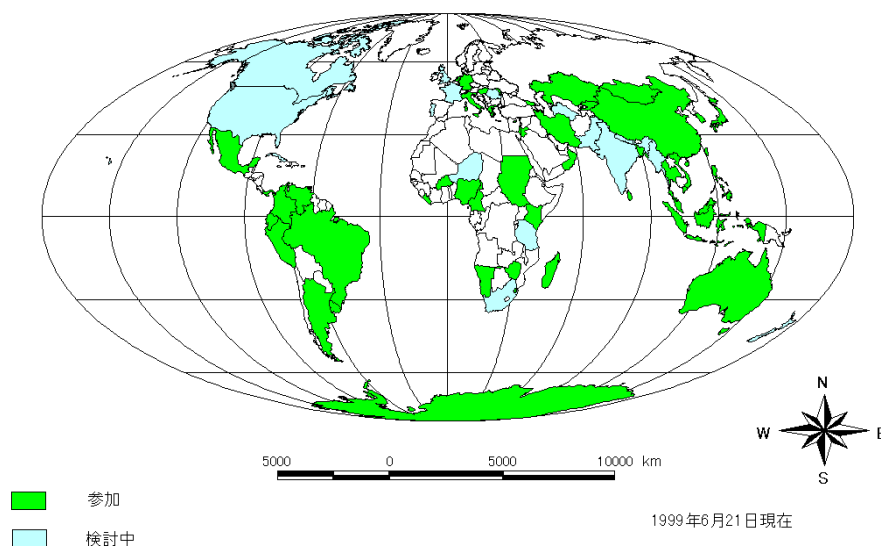
国、地域	機関
南極	SCAR Working Group on Geodesy and Geographic Information
アルゼンチン	Secretaria de Recursos Naturales y Desarrollo Sustentable - Direccion de Recursos Forestales Nativos
オーストラリア	Australian Surveying & Land Information Group
バングラデシュ	Survey of Bangladesh
バミューダ	Ministry of Works & Engineering, Bermuda Government
ブラジル	Instituto Brasileiro de Geografia e Estatística (IBGE)
ブルネイ	Survey Department
ブルキナファソ	Institut Geographique du Burkina
カメルーン	Institut National de Cartographie
ケイマン諸島	Lands & Survey Department
中国	State Bureau of Surveying and Mapping
コロンビア	Instituto Geografico Agustin Codazzi
キプロス	Department of Lands and Surveys
エクアドル	Instituto Geografico Militar
フィジー	Ministry of Lands & Mineral Resources
グルジア	The State Department of Geodesy and Cartography
ドイツ	Budesamt für Kartographie und Geodäsie
ギリシャ	Hellenic Mapping and Cadastral Organization
香港	Lands Department, the Government of the Hong Kong Special Administrative Region
ハンガリー	Department of Lands and Mapping, Ministry of Agriculture and Regional Development
インドネシア	National Atlas Centre, BAKOSURTANAL
イラン	National Cartographic Center (NCC)
イスラエル	Survey of Israel
イタリア	Italian Geographic Military Institute
日本	Geographical Survey Institute
ヨルダン	Royal Jordan Geographic Center
カザフスタン	Scientific Technical Enterprise of Digital Cartography and GIS, The Committee for Management of Land Resources, Ministry of Agriculture STE "Kartinform"
ケニア	Survey of Kenya
キリバス	Land Management Division
キルギス	State Service of Cartography and Geodesy of Kyrgyz Republic

リベリア	Liberian Cartographic Service, Ministry of Lands, Mines and Energy
マカオ	Direccao dos Servicos de Cartografia e Cadastro
国、地域	機関
マダガスカル	Institut Geographique et Hydrographique
マレーシア	Deaprtment of Survey and Mapping Malaysia
モルディブ	Ministry of Construction and Public Works
マルタ	Mapping Unit Planning Authority
メキシコ	Instituto Nacional de Estadistica Geografia e Informatica
モルドヴァ	National Agency of Cadastre, Land Resources and Geodesy
モンゴル	State Administration of Geodesy and Cartography Mongolia
ナミビア	Directorate of Survey and Mapping, Ministry of Lands, Resettlement and Rehabilitation
オランダ領アンティル	Cadastral Service
ナイジェリア	Federal Ministry of Works & Housing, Federal Surveys Department Headquarters
オマーン	National Survey Authority
パナマ	National Geographical Institute
ペルー	National Geographic Institute
フィリピン	National Mapping and Resource Information Authority
韓国	National Geography Institute
シンガポール	Mapping Unit, Ministry of Defence

検討中（1999年6月21日現在）

国、地域	
アメリカン・サモア	ニジェール
アセンション島(南大西洋)	パキスタン
カナダ	ポルトガル
キューバ	ルーマニア
フランス	南アフリカ
インド	タンザニア
ミャンマー	トルクメニスタン
ネパール	英国
ニュージーランド	米国

地球地図プロジェクトへの参加状況



JICA 地球地図研修コース

「地球地図」研修コースは、国際協力事業団(JICA)により再編成され、国土地理院(GSI)がこのコースの研修機関になります。

このコースの目的は、発展途上国の地球地図(GM)整備を支援することで、研修員は、地球地図の概念を理解するだけでなく、研修の中で地球地図の見本を作成することになっている。

今年は、10月4日～12月19日の日程で行われるが、来年の実施期間は変更される可能性があります。定員は5名です。

「地球地図」研修コースへの応募方法など、詳しい情報はについては、自国の政府を通じて入手して下さい。応募は、外交ルートで行われます。

ISCGM 新事務局長の挨拶

秋山 實

読者の皆様。

1999年6月2日に委員長のジョン・E・エステス教授により、光栄にも地球地図国際運営委員会(ISCGM)の新事務局長に指名されたことを皆様にお知らせ致します。

前任者の永井信夫氏がなされたように、事務局の任務遂行のために全力を尽くすつもりでおります。地球地図プロジェクトを前進さ

せるために、地球地図プロジェクトにすべての面に対して、皆様方の引き続きのご支援を賜りたくお願い申し上げます。

このニューズレターは、年に4回、無料で、地球地図プロジェクトの関係者や地球地図に興味のある方に配布しております。

このニューズレターにつきまして、ご希望をお寄せいただけましたら嬉しく存じます。

地球地図と関連の会合

1999年

- 7月19日～23日、英国、ケンブリッジ
ケンブリッジ会議
 - 7月24日、英国、ケンブリッジ
第6回 ISCGM
 - 8月14日～21日、カナダ、オタワ
第19回国際地理学会議
<http://www.ccrs.nrcan.gc.ca/ica1999/>
 - 9月29日～30日、日本、京都
第9回 ISO/TC211 本会議
 - 11月1日～5日、オーストラリア、フリマントル
第6回東南アジア測量士会議
<http://www.isaust.org.au/40thcong/index.htm>
- 2000年

- 2月?、タイ、バンコク?、
第15回 UNRCCAP
- 3月9日～10日、南アフリカ*
第10回 ISO/TC211 本会議
- 3月27日～31日、南アフリカ、ケープタウン
第28回環境リモートセンシング国際シンポジウム
- 7月14日～26日、オランダ、アムステルダム
第19回 ISPRS 会議
- 9月28日～29日、米国*
第11回 ISO/TC211 本会議

編集、発行：建設省国土地理院
地球地図国際運営委員会事務局
連絡先：〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
TEL: 0298-64-6910
FAX: 0298-64-1804
E-mail: iscgmsec@graph.gsi-mc.go.jp
ホームページ： <http://www1.gsi-mc.go.jp/iscgm-sec>
発行年月日 1999年6月25日